

再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担 当 課:道路局 環境安全・防災課

担当課長名:水野 宏治

事業名	地高ICアクセス 主要地方道 大津能登川長浜線 上砥山・目川工区				事業区分	地方道	事業主体	滋賀県	
起終点	自:滋賀県栗東市上砥山 至:滋賀県栗東市目川						延長	1.7km	
事業概要									
本事業は、現在事業中の栗東水口道路Ⅰと草津駅周辺エリアとのアクセス道路として機能し、周辺の交通渋滞の緩和、観光分野の支援、防災拠点への緊急時のアクセスに資する道路である。									
H31年度事業化			S47年度都市計画決定		R3年度用地着手		R3年度工事着手		
全体事業費		約37 億円		事業進捗率		約56 %		供用済延長 -km	
計画交通量		9,600 台／日							
費用対効果分析	B/C	EIRR	総費用		(残事業)/(事業全体)		総便益 (残事業)/(事業全体)		基準年
	(事業全体)	(事業全体)	16 / 35 億円		53 / 53 億円				
	1.5	6.5 %	事業費: 15/ 34億円		走行時間短縮便益: 46 / 46億円				令和6年
	2.3 [2%]		維持管理費: 1.2/ 1.2億円		走行経費減少便益: 6.1/ 6.1億円				
	3.0 [1%]		更新費: -/ -億円		交通事故減少便益: 0.59/ 0.59億円				
	(残事業)	(残事業)	感度分析	(事業全体)			(残事業)		
	3.3	交通量		B/C=1.3～1.6(±10%)		交通量	B/C=3.2～3.5(±10%)		
	5.0 [2%]	事業費		B/C=1.4～1.6(±10%)		事業費	B/C=3.2～3.5(±10%)		
6.2 [1%]	事業期間	B/C=1.4～1.5(±20%)		事業期間	B/C=3.2～3.4(±20%)				
事業の効果等									
・栗東方面から草津駅周辺エリアへのアクセスルート上にある主要渋滞箇所を回避することでアクセス時間短縮が期待される。 ・栗東水口道路から国道1号を結ぶルートが増加し、交通が分散することで、周辺道路の混雑緩和が期待される。 ・周辺工業団地から国道1号や名神高速道路の各 IC 等へのアクセス向上により、さらなる産業経済振興への支援が期待される。 ・甲賀市水口方面や栗東市南部方面から草津市街地やびわ湖・草津市街地へのアクセス向上によりさらなる観光振興が期待される。									
関係する地方公共団体等の意見									
地元自治体で形成される大津湖南地域幹線道路整備促進期成同盟会(大津市、草津市、栗東市、湖南市、野洲市、守山市)より、早期整備の要望を受けている。									
事業評価監視委員会の意見									
事業継続を妥当と認める。									
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等									
県南部地域は、人口、自動車保有台数ともに増加の一途をたどっており、慢性的な渋滞が課題となっている。									
事業の進捗状況、残事業の内容等									
用地取得率約30%、事業進捗率約56%									
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等									
早期完了を目指し、引き続き、用地取得、道路改良工等の工事を推進していく。									
施設の構造や工法の変更等									
建設発生土の公共事業箇所への流用などにより、着実なコスト縮減に努める。									
対応方針		事業継続							
対応方針決定の理由									
事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。									

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。〔 〕内は社会的割引率の値